

**2025 (令和 7) 年度  
事業報告書  
－ 総括的概要 －**



# I 総 括 的 概 要

2025（令和 7）年度のわが国経済は、米国の関税政策による不透明感が漂ったものの、堅調な設備投資や価格転嫁の進展に伴い、大手企業を中心に企業収益が改善。底堅い個人消費にも支えられて長く続いた低成長型経済から新たな成長経済への正念場を迎えた。

一方で、多くの中小・小規模事業者は慢性的な人手不足や円安に伴う輸入価格高騰への対応に苦慮しており、加えて 2 月末に突如始まった米国・イスラエルによるイランへの攻撃によって世界の原油供給網が混乱し予断を許さない状態が続いている。

このような中、兵庫・神戸においては、大阪・関西万博の開幕に合わせ、神戸空港の国際チャーター便の運用開始とともに第 2 ターミナルがオープンし、宿願であった国際化を実現。万博との相乗効果もあり国内外から多くの観光客が訪れ、空港の年間搭乗者数は初の 400 万人を超え 2030 年の国際定期便就航に向け順調な滑り出しを見せた。

またウォーターフロントエリアでは、ジーライオンアリーナ神戸が開業し、スポーツやミュージックイベントなどが多数開催され街の賑わい創出に新たなエリアが加わった。

さらに、JR 三ノ宮新駅ビルや中・長距離バスターミナル「バスタ神戸三宮」、神戸市庁舎 2 号館の建設など、都心・三宮再整備に係るプロジェクトが着実に進行した。

こうした状況の下、様々な経営課題を抱える中小・小規模事業者に対し事業継続・承継に向けた支援を行うと同時に、大学の就職担当者と企業が情報交換を行うイベントや外国人材採用を促進するセミナーなどを開催し人材確保に向けた事業を実施した。

一方で経営力向上に向けては、新事業展開や国内外における販路開拓を目指し経営指導員による伴走型支援などに取り組んだ。

また神戸イノベーション・リーダーズや神戸イノベーション・コミュニティが中心となって神戸の次代を担う企業の育成と地元企業との協業を促進するとともに、企業におけるデジタル化・DX、AI 導入への支援、脱炭素・GX、スポーツ産業の振興など、イノベーション創出に努めた。

加えて、大阪・関西万博を契機とし、国内外の商工会議所の万博視察と合わせた表敬訪問への対応とともに成長を続ける神戸医療産業都市などへの視察受け入れを行ったほか、関連する国際見本市への出展などを通じ、会員事業所の技術・サービスの PR を行い、街と企業の魅力を世界に向けて発信した。

さらに神戸空港の国際定期便就航に向けたプロモーション活動を行うとともに大阪湾岸道路西伸部を含めた高速道路ネットワーク整備を促進するため、シンポジウムを開催するなど、国・自治体に対して都市基盤の早期整備を求めた。

また、任期満了による役員・議員の改選を行い、11 月には川崎会頭が再任され、2 期目となる同体制がスタートした。

今年度の主な事業は、以下の項目に掲げる通りである。

## I. 中小企業の経営力向上に向けた支援

### 1. 事業継続・承継・再生への支援

低成長経済から成長型経済に局面が変わる中、中小・小規模事業者の多くは、原材料・エネルギー価格の高騰や慢性的な人手不足など様々な経営課題を抱えており、引き続き市内3支部を核として事業継続・承継及び経営力向上に向けた支援に取り組んだ。

経営指導員をはじめ中小企業診断士等の専門家を中心に会員事業所からの事業継続に向けた資金繰りや価格転嫁、補助金等に係る相談に応じたほか、新たな事業展開等を含め、電話・窓口相談や巡回指導、専門家派遣など、経営指導・相談を延べ21,844回行った。

また、国・県・市が実施する各種補助金や助成金申請支援にも取り組み、小規模事業者持続化補助金の申請に係る709件のサポートを行い、うち321件が採択された。この他、起業家支援事業、事業継続支援事業等の申請サポートをはじめとした幅広い支援策の相談対応にあたった。

加えて、当商工会議所の推薦に基づき、日本政策金融公庫が実行する「小規模事業者経営改善資金（マル経融資）」を196件、13億5,913万円推薦した。

さらに、多くの中小・小規模事業者は新型コロナウイルスの際に発生した過剰債務の残存に加え、人手不足・人件費高騰で収益力や財務状況が悪化しており兵庫県中小企業活性化協議会では過去最多の354社から相談を受けた。事業存続を含め深刻な案件が多く、事業譲渡などの抜本再生、再チャレンジ支援の割合が多く占め、支援完了件数は162件を数えた。

また、兵庫県事業承継・引継ぎ支援センターでは、事業承継が困難な中小企業者に対し、延べ633件の相談を実施し、親族内承継やM&Aなどで101件の成約を得た。

#### 【主な事業内容】

- ① 経営に関する相談指導（巡回相談8,281件/窓口相談13,120件/専門家派遣指導97件/総合専門相談室346件）
- ② 小規模事業者経営改善資金融資（マル経融資）の推薦・各種制度融資の斡旋（推薦・斡旋件数373件/推薦・斡旋金額28億5,681万円）
- ③ 小規模事業者持続化補助金の申請支援（申請サポート709件/採択321件）
- ④ 兵庫県中小企業活性化協議会
  - ・ 中小企業再生支援（相談社数354件/再生計画策定支援完了案件162件）
  - ・ 経営改善計画策定支援（利用申請受付55件/支払申請受付41件/モニタリング申請受付（実施回数）147回）
  - ・ 早期経営改善計画策定支援（利用申請受付8件/支払申請受付6件/モニタリング申請受付28件）
- ⑤ 兵庫県事業承継・引継ぎ支援センター（相談延べ件数633件/成約件数101件）
- ⑥ KCCI創業塾2025経営実践セミナー（全4回/参加者延べ166名）

## 2. 販路開拓・マーケティング力強化、海外展開への支援



**デジタルマーケティングセミナー  
Canva 編（令和8年2月）**

会員企業の販路開拓を進めるため令和6年度に引き続き「販路拡大プロジェクト」を開催。大阪・関西万博会場や映画館ロビーでの展示・販売を行ったほか、専門家による個別相談会などを開催し、販路開拓力の向上を図る取り組みを実施した。

また、業種や規模を限定せず、あらゆるビジネスマッチングの機会を提供する「アライアンス商談会」をオンラインで2回開催。兵庫・神戸の事業所だけでなく、名古屋や広島等の商工会議所と連携し広域でのマッチングを図り延べ560件の商談を行った。

このほか、新規顧客獲得や売上増加を目指す小規模事業者を対象に生成AIやInstagram、LINEを活用したデジタルマーケティングの基礎から実践的な手法を学ぶセミナーも開催した。

また、ベトナム、台湾、インドネシアでの販路開拓や事業パートナーの発掘に意欲的な地元企業を支援するため、現地においてビジネスマッチングを行う「海外現地商談会」を実施。18社が参加し、合計89件商談を行うとともに、ベトナム優良企業とのオンラインビジネスミーティングをはじめ、越境ECサイト販促支援なども実施した。

加えて大阪・関西万博の開催を機に来神した各国経済団を受け入れ、双方のビジネスマッチングの機会を提供するとともに、米国やインドなど海外主要国の政治・経済情勢、利活用が進むRCEPに関するセミナー等を開催し会員企業の海外展開を支援した。



**台湾・台北において  
海外現地商談会開催（8月）**

### 【主な事業内容】

- ① 販路拡大プロジェクト（セミナー3回/展示会出展2回/個別相談会）
- ② 兵庫・神戸アライアンス商談会-Online-（マッチング数157社・190件）
- ③ 神戸×名古屋×広島 商工会議所オンライン商談会（マッチング数284社・370件）
- ④ デジタルマーケティングセミナー（6回/延べ参加者数195名）
- ⑤ 海外現地商談会（3回ベトナム、台湾、インドネシア/参加社数18社/商談数89件）
- ⑥ ベトナム優良企業のビジネスミーティング（参加企業 日本側7社、ベトナム側3社）
- ⑦ 国際ビジネス支援に関する主催セミナー・イベント（10回/参加者数延べ1,158名）
- ⑧ 海外経済団の受入れ（6回/受け入れ者数151名）

### 3. 人材確保と定着、育成への支援

会員事業所において人材不足感が強まっていることを踏まえ、県内の大学・専修学校の就職担当者が求人や学生の就職活動における情報交換を行う「企業とキャリアセンターとの就職情報交換会 in KOBE」をはじめ、外国人材採用を促進するための制度説明セミナー、留学生と企業の採用担当者との交流会、さらには採用に係る課題解決をはかるため専門家派遣を行うなど、新規学卒者に限らず、様々な人材確保に向けた事業を実施した。



企業とキャリアセンターとの  
就職情報交換会 in KOBE (10 月)

また、各企業の従業員がものづくりの魅力を発信することで企業間交流だけでなく、働くモチベーション向上や人材確保の一助につなげる「KOBE OPEN FACTORY」を長田区周辺と西神工業団地内などで開催し、一般市民等を対象に工場見学やワークショップを実施した。

さらに、各企業の将来人材の育成を目的とする「KCCI ビジネスセミナー」は、64 講座開催し、延べ 1,270 名が受講したほか、個別企業向けに企画するオーダーメイド研修を 18 件、研修動画をオンラインで配信する「中小企業 Web 研修事業」も 116 社が受講した。

ビジネスの実践的な能力を評価し認定する検定・認定試験は、全体で 18 種目を施行し、延べ 14,543 名が受験した。

#### 【主な事業内容】

- ① 外国人材採用支援事業 キックオフセミナー (7 月/参加者数 49 名/個社支援 5 件)  
企業と外国人留学生との企業研究会 (令和 8 年 1 月/参加企業 5 社 参加者 37 名)
- ② 企業とキャリアセンターとの就職情報交換会 in KOBE (10 月/参加企業 115 社・参加学校 19 校/面談数 315 回)
- ③ 外国人のための企業説明会 (6 月/出展企業 76 社 参加者 1,706 名)
- ④ 兵庫県合同就職面接会・企業説明会 (7 月・令和 8 年 3 月/出展企業 80 社/参加者数 111 名)
- ⑤ 開工神戸-KOBE OPEN FACTORY-(長田区周辺) (5 月/出展企業 33 社/来場者数延べ 7,000 名)
- ⑥ 開工神戸-「BtoB 向け」ファクトリーツアー (令和 8 年 3 月/出展企業 5 社/参加者 6 名)
- ⑦ 西神 made-KOBE OPEN FACTORY-(西神工業団地周辺) (10 月/出展企業 29 社/来場者数延べ 6,000 名)
- ⑧ KCCI ビジネスセミナー (研修 64 講座/受講者数延べ 1,270 名/オーダーメイド研修 18 件/外部提携講座他 90 件)
- ⑨ 中小企業 Web 研修事業 (受講企業 116 社/4,437 アクセス)
- ⑩ 検定試験・認定試験 (18 種目/受験者数 14,543 名)

## II. 新たな企業価値創造・イノベーション創出

### 1. スタートアップ、地元企業との協業・共創によるイノベーション創出

「ひょうご・神戸スタートアップエコシステムコンソーシアム」の参画メンバーとして、行政や支援機関、大阪・京都商工会議所と連携し、スタートアップの成長・発展そしてイノベーション創出に向けた多角的な支援に取り組んだ。主要企業の新規事業担当者を組織化した「神戸イノベーション・コミュニティ」では、新規事業への取り組みや企業連携をテーマとした交流会・ピッチイベントなど計 15 回の例会を開催。さらに地元出身の起業家経営者で構成する「神戸イノベーション・リーダーズ」では、スタートアップにメンタリングを実施し、各社の成長支援と異業種間のネットワーク構築を後押しした。また、各種イベント時だけでなく、日常的に会員企業とスタートアップのビジネスマッチングに取り組み、174 件のマッチングを支援した。さらに AI を活用したマッチングシステムの開発に取り組んだ。



神戸イノベーション・コミュニティ  
例会（7月）

神戸医療産業都市の推進では、神戸医療産業都市推進機構等、関係機関との連携を通じて、地元企業や進出企業・研究機関等に向けた情報提供に取り組み、8 月には、京阪神三商工会議所ライフサイエンス振興懇談会を通じて、「関西圏におけるライフサイエンス産業振興に係る要望」を取りまとめ、国等関係機関に提出した。さらに新たに設立された神戸ウェルヘルスネットワークや KLSAP (Kasai Life Science Accelerator Program) に対する運営・広報協力を行った。

また、神戸スポーツ産業懇話会では、6 月にオープンした「Sysmex Kobe Ice Campus」の視察会や、2027 年に神戸に開設が予定されているバレーボール日本代表の強化拠点に関する企業向け説明会、2026 年 9 月から開始予定の神戸市による部活動の地域移行をテーマとしたセミナーの開催などを実施した。

#### 【主な事業内容】

- ① スタートアップピッチイベント（4 回/参加者数 245 名）
- ② 神戸イノベーション・コミュニティ例会・関連イベント（15 回/延べ参加者数 1,164 名）
- ③ 神戸イノベーション・リーダーズ メンタリング DAY（6 回/延べ参加者数 91 名）
- ④ 新規事業担当者交流会（2 回/参加者数 83 名）
- ⑤ スタートアップのサービスのテスト利用・実証事業（1 回/利用者 3 社）
- ⑥ 会員企業とスタートアップのマッチング（147 件）
- ⑦ AI を活用したマッチングシステムの開発
- ⑧ 2025 年度関西圏におけるライフサイエンス産業振興に係る要望（8 月）
- ⑨ 神戸スポーツ産業懇話会の運営（会員数 110 社・団体）

## 2. DX 導入、AI の活用に向けた支援と脱炭素・GX 推進

人手不足による負担を軽減する業務効率化や生産性向上・付加価値創出に向けて、企業のデジタル化・DX 導入・AI 活用を支援するため、「国・県・市のデジタル化活用施策説明会」のほか、地元企業の DX 事例や各種ツールを紹介するセミナーを開催するとともに、「AI デジタルツール活用術シェア会」をはじめ、AI の最新技術や活用方法を学ぶ実践セミナー等を開催した。加えて現場訪問によって業務のデジタル化を提案する個別支援事業や、専門学校との連携による企業課題を解決する事業のほか、高度情報専門人材の育成に向けて、大学と企業の懇談会やデジタル人材のマッチング事業にも取り組んだ。



ビジネスに効く AI & デジタルツール活用術シェア会（10 月）

環境問題への対策や脱炭素・GX を推進する取り組みにおいては、「燃料電池（FC）商用車の普及拡大施策説明会」や行政の取り組み・支援制度を紹介する「脱炭素・GX 支援施策説明会」を開催し、最新の施策や制度の活用を積極的に呼びかけた。また、サーキュラーエコノミーへの転換をテーマとしたセミナーを実施し、持続可能なビジネスへの取り組みを支援した。

個社支援においては、CO2 排出量の測定（見える化）・削減に課題を持つ企業の個別相談に随時対応したほか、環境配慮型製品の成功事例を分析し、ブランディング戦略を学ぶ講座とともに、実際に百貨店内で PR・販売ブースを設置するテストマーケティングを行う「サステナブル製品 PR・テストマーケティング支援事業」を実施し、企業の SDGs に向けた取り組みを後押しした。

### 【主な事業内容】

- ① デジタル化・DX 推進、AI 活用に関するセミナー・説明会等（10 回/延べ参加者数 439 名）
- ② 中小企業の現場訪問によるデジタル化提案・伴走支援事業（支援対象企業 3 社）
- ③ 学生との協業による業務課題解決を目指す支援事業（支援対象企業 3 社）
- ④ 神戸商工会議所と神戸大学システム情報学部との意見交換会（12 月/参加者数 15 名）
- ⑤ 脱炭素・GX 支援に関するセミナー（6 回/参加者数延べ 133 名）
- ⑥ サステナブル製品・サービスで市場を勝ち抜く！顧客の心をつかむブランディング戦略集中講座（11 月～令和 8 年 2 月/参加者数 8 名）
- ⑦ サステナブル製品 PR・テストマーケティング支援事業（令和 8 年 3 月/2 社）
- ⑧ ビジネスチャンス EXPO in TOKYO への出展（11 月/5 社）

### Ⅲ. 神戸空港国際チャーター便の就航と万博を契機とした交流促進

#### 1. 神戸空港国際化を通じた観光・誘客に向けた取り組みと都市基盤の強化



神戸・仁川・大邱交流訪問団  
(4月)

神戸空港は、4月18日から国際チャーター便の受入れを開始。大韓航空（韓国・仁川）、吉祥航空（中国・上海、南京）、スターラックス航空（台湾・台北、台中）の3か国・地域の5都市を結ぶ路線の運航が始まるとともに、第2ターミナルの運用も開始された。2026年2月には開港20周年を迎え、2025年度の旅客数は前年度比15.6%増の417万人、うち国際線の利用者数は52万人となり、国際チャーター便の効果もあり、2006年の開港以来過去最高を記録した。

当商工会議所では、国際チャーター便を運用する空港の利用推進として、韓国、台湾など海外を含めた就航都市商工会議所等の経済団体を訪問したほか、「神戸空港利用推進協議会」の事務局として神戸空港並びに就航エアラインの広報PRや教育旅行・旅行商品の助成、周年ロゴマークの作成、周年イベントの実施等に取り組んだ。

また、高速道路ネットワークの整備推進をはかるため、「関西高速道路ネットワーク推進協議会」に参画し、大阪湾岸道路西伸部をはじめとする関西圏の高速道路ネットワークの早期整備を求め、同協議会を通じて国並びに政府・与党への要望活動を行ったほか、「神戸商工会議所×高速道路ネットワーク整備シンポジウム」を開催し官民が連携して機運醸成を図った。



神戸商工会議所×高速道路ネットワーク整備促進シンポジウム  
(令和8年1月)

#### 【主な事業内容】

- ① 海外プロモーション（4月 韓国、10月 台湾）
- ② 神戸空港利用推進協議会の運営（会員数 305）
- ③ 第15回関西三空港懇談会（令和8年1月）
- ④ 関西創生のための高速道路ネットワークの早期整備に関する要望（8月、10月）
- ⑤ 神戸商工会議所×高速道路ネットワーク整備促進シンポジウム（令和8年1月／参加者数 241名）

## 2. 大阪・関西万博を通じたビジネス促進と交流人口の拡大



**神戸港から貸切チャーター船で行く！  
大阪・関西万博視察会（7月）**

4月13日から184日間にわたって開催された大阪・関西万博は、総来場者数が2,900万人を超えるなど盛況のうちに幕を閉じた。兵庫県においては、各地における歴史・文化や地場産業、震災からの創造的復興など、世界が持続的な発展を遂げるためのヒントとなる取り組みを「ひょうごフィールドパビリオン」として認定・発信し、2025年度末までに274件のプログラムが認定された。

当商工会議所においては、役員・議員や委員会による万博視察会を実施したほか、万博と連携して開催された国際見本市へのブース出

展、万博を訪れる観光客に神戸市の魅力ある飲食店を知ってもらうためのPR冊子「神戸まちグルメ EXPO」の発行など、兵庫・神戸のまちや企業の魅力発信に取り組んだ。

加えて、万博の視察に付随して兵庫・神戸の視察を希望する国内商工会議所や、海外経済団体等の受け入れ・相談対応を行う窓口を設置し、延べ16団体・294名の受け入れを行った。

一方で神戸を代表する集客イベントでは、「神戸まつり」や「みなと HANABI」等への開催協力を継続して実施したほか、31回目の開催となった「神戸ルミナリエ」では、昨年に引き続きメリケンパーク会場の有料ゾーンを中心に、東遊園地会場、旧居留地会場、北野町や波止場町に分散して作品を展示。街全体の回遊を促し、まちの魅力発信や賑わいづくりに取り組んだ。

### 【主な事業内容】

- ① （公社）2025年日本国際博覧会協会への参画
- ② 役員・議員や委員会による視察会の実施（7月、9月/参加者数延べ69名）
- ③ 未来モノづくり国際 EXPO2025 へのブース出展（7月/出展社数5社/来場者数16,922名）
- ④ 神戸市内飲食店PR事業「神戸まちグルメ EXPO」発行
- ⑤ 国内外からの視察受入れ（16団体/延べ294名）
- ⑥ 第52回神戸まつりの開催（5月）
- ⑦ みなと HANABIー神戸を彩る5日間ーの開催（10月、12月）
- ⑧ 神戸ルミナリエの開催（令和8年1月/来場者数約232万人）
- ⑨ 賑わい創出委員会視察会（10月 滋賀県）

## IV. 会員参画の推進・組織基盤の強化

### 1. 会員サービスの充実



永年会員表彰式  
(令和8年3月)

商工会議所組織のスケールメリットを活かした各種共済及び保険制度のサービスの充実や加入促進に努めたほか、クレジットカード包括代理契約事業「こうべdeカード」や高速道路通行料金の負担を軽減する

「ETCカード事業」等、会員事業所向けサービスを展開した。また、永年にわたり、当商工会議所会員として商工会議所活動並びに地域経済・社会の発展を支えてこられた事業所への永年会員表彰や会員事業所従業員を対象とした優秀功労者表彰を執り行った。

#### 【主な事業内容】

##### ① 共済・保険事業

- ・ 生命共済制度（加入 2,640 社／10,223 名）
- ・ 特定退職金共済制度（加入 857 社／6,546 名）
- ・ 個人拠出制年金共済制度（加入 1,183 名）
- ・ ひょうご共済（116 社）
- ・ がん保険、海外 PL 保険制度、休業補償プラン、フルガード 2000、業務災害補償プラン、ビジネス総合保険 他の募集推進

##### ② 各種会員サービス事業

- ・ こうべdeカード事業（加盟 483 店）
- ・ ETC カード事業（加入 148 社・車両 668 台）
- ・ 会員優待ガイドブック（235 施設）
- ・ 健康診断（受診者 2,347 名）
- ・ 福利厚生代行サービス（加入 CLUB CCI 6 社／ベネフィット・ステーション 7 社）
- ・ 労働保険事務代行サービス（受託 383 件）
- ・ DM 配送代行サービス（利用 66 件）

##### ③ 表彰

- ・ 会員事業所優秀功労者表彰（10 月／被表彰者 186 名）
- ・ 永年会員表彰（令和 8 年 3 月／在籍 50 年表彰 29 社、在籍 30 年表彰 179 社）

##### ④ 神戸商工会議所会館の運営（会議室利用 873 件／入居テナント 9 社・団体）

## 2. 政策提言・要望活動、調査事業等

地域総合経済団体として、中小企業のビジネス変革と新事業展開、神戸空港国際化への対応、まちの賑わい創出など計6項目の政策提言や要望をとりまとめ、国、兵庫県、神戸市などに提出するとともに、行政、他団体等との懇談や意見交換を行った。



令和8年度神戸市政に対する要望（9月）

こうした政策提言や要望活動に地域の景気・経営動向や会員企業の意見を反映させるため、

「県政・市政に対する要望アンケート調査」や

「経営経済四半期動向調査」を実施。加えて世界における最先端事例の調査研究を行うため、米国・シリコンバレー、シアトルを訪問し、スタートアップ支援・イノベーション創出に係る調査と国際的な連携強化を図るとともに、神戸のMICE施設リニューアル検討に向けた事例研究のために国内外の先進地視察を行った。

広報活動においては、機関誌に加えホームページやメールマガジン等を通じて当商工会議所事業の周知を行ったほか、国・自治体の施策等の情報提供に努めた。

### 【主な事業内容】

#### ① 政策提言・要望

- ・ 地元建設業並びに関連事業者の振興に関する要望（5月）
- ・ 2025年度関西圏におけるライフサイエンス産業振興にかかる要望（8月）
- ・ 令和8年度神戸市政に対する要望（9月）
- ・ 関西創生のための高速道路ネットワークの早期整備に関する要望（8月、10月）
- ・ 令和8年度兵庫県政に対する要望（10月/兵庫県商工会議所連合会）

#### ② 意見交換会・懇談会

- ・ 関西経済連合会との懇談会（8月）
- ・ 北陸・関西連携会議 第13回会頭会合（9月）
- ・ 関西広域連合と関西経済界との意見交換会（令和8年1月）
- ・ 第65回関西財界セミナー（令和8年2月）
- ・ 神戸市との懇談会（令和8年3月）

#### ③ 調査

- ・ 経営経済四半期動向調査（四半期ごと4回/対象101社）
- ・ 日本商工会議所 LOBO（早期景気観測）調査への協力（対象2社）
- ・ 兵庫県政・神戸市政等に関する要望アンケート調査（全会員対象）
- ・ スタートアップ支援・イノベーション創出に係る調査及び連携強化を目的とした米国訪問（8月アメリカ・シリコンバレー、シアトル）
- ・ 神戸のMICE施設のリニューアルに関する先進地視察（6月横浜/7月オーストラリア・ブリスベン、メルボルン、ゴールドコースト/10月台湾・台北、台中）

#### ④ 広報

- ・ 神戸商工だより（10回発行）
- ・ ホームページによる情報提供（<https://www.kobe-cci.or.jp/>）
- ・ メールマガジンによる情報提供（月2回発信/登録者4,135件）
- ・ FAX同報通信（会員事業所向け月2回発信）

### 3. 会員組織の維持拡大と財政基盤の強化



新会員懇談会（12月）

業種・業態・規模を超えた人的ネットワークの形成・拡大を図るとともに、当商工会議所が行う地域経済活性化事業への理解や参画等を促進するため、「会員ミーティング」や「新会員懇談会」「支社長・支店長懇談会」を開催した。

また、多様な交流を図るため女性会や地区別会員交流会、異業種交流会を運営した。

なお、令和7年度末（令和8年3月末）現在の会員数は11,207会員となり、前年度末比で155会員の純減となった。一方で昨今の物価上昇に伴う

各種コスト増への対応など、中長期的な観点から財政基盤の安定化を図るとともに事業活動の一層の強化を目的に、会費改定について審議を重ねた結果、11月7日開催の第117回臨時議員総会において令和8年4月1日より1口単価を18,000円とする規約改定案が承認された。

#### 【主な事業内容】

- ① 会員ミーティング（令和8年3月/参加者140名）
- ② 新会員懇談会（12月/参加者130名）
- ③ 支社長・支店長懇談会（令和8年2月/参加者63名）
- ④ 女性会（月例懇談会7回/交流会2回/視察会1回/特別講演会1回/参加者延べ404名）
- ⑤ 企業広報研究会（会員64社/総会・定例会4回/社内報研究小グループ3回）
- ⑥ 令和8年新年合同祝賀会（令和8年1月/参加者1,000名）
- ⑦ 地区別会員懇談会・交流会（計4回/参加者延べ51名）
- ⑧ 支部異業種交流会
  - ・ 東神戸支部 東金会（例会12回） / 神戸アトツギ塾（例会5回）
  - ・ 西神戸支部 長田活性化研究会（例会9回）

#### 【会 員 数】

11,207 会員（令和8年3月末現在）

### 4. 役員・議員の改選

今年度は3年に一度の役員・議員改選の年にあたるため、9月から10月にかけて、任期満了に伴う議員改選を行った。11月7日に開催した臨時議員総会において川崎会頭が再任されるとともに、副会頭6名、専務理事、常議員38名、監事3名が選任され、川崎体制の2期目がスタートした。また、役員・議員改選に伴う委員会の改編により、都市力強化委員会を「神戸空港委員会」と「神戸港活性化委員会」に改編、次世代産業委員会を「新事業・イノベーション創出委員会」に統合した。



新役員就任披露パーティ  
（12月）







神戸商工会議所

The Kobe Chamber of Commerce and Industry